



令和6年2月2日  
府中市立若松小学校

新しい1年が始まり、早いもので1か月が経ちました。冬休みが明け、年末に流行していた感染症が落ち着くことを願っていましたが、溶連菌、感染性胃腸炎、インフルエンザ、新型コロナウイルスなどの感染症が未だ流行しています。市内の小中学校では、1月の学級閉鎖の報告が数多くありました。若松小でも、少しずつインフルエンザ(B型)や新型コロナウイルス感染症罹患の報告が上がっています。

さらに、これからは花粉症のシーズンが本格的に始まります。体調が不安定になりやすい時期ですので、積極的に感染症や花粉症対策に取り組み、つらいシーズンを乗り越えましょう。



3学期 発育測定結果(平均値)

若松小 平均値	男子				女子			
	身長(cm)	4月から	体重(kg)	4月から	身長(cm)	4月から	体重(kg)	4月から
1年	122.7	+2.1	23.9	+0.9	118.8	+1.7	22.0	+0.4
2年	126.4	+2.3	25.4	+1.3	126.1	+1.6	25.4	+0.9
3年	132.5	+1.7	29.3	+0.7	132.7	+2.0	29.2	+1.3
4年	137.6	+1.8	33.1	+1.1	139.1	+2.4	32.9	+0.9
5年	144.2	+1.6	37.8	+0.5	145.2	+2.6	37.2	+1.7
6年	151.6	+2.3	40.4	+0.8	152.1	+1.2	43.1	+0.9

◆3学期 発育測定前ミニ保健指導内容◆

〇1・2年生「みんなで楽しく食べよう!」

給食に関する事、食物アレルギーとはどんなものかについてお話をしました。

※3~6年生保健指導の実施なし



保健行事

2月の予定

15日(木) 二小・若松小・浅間中三校合同保健委員会  
(お知らせ用紙兼申込書は1月31日に配布済みです。)

22日(木) 3年 歯科保健指導(12月延期分)※

27日(火) 6年 薬物乱用防止教室

※ご家庭で用意いただく持ち物については、スマート連絡帳にて別途お知らせします。

わかまつしょうじどう  
若松小児童のみなさんへ

花粉症を予防しよう

花粉症は、スギやヒノキなどの植物の花粉を吸いこんだり、ふれたりすることで、鼻水やくしゃみ、目のかゆみなどの症状が起きます。そのため、花粉症の症状を軽くするには、できるだけ花粉を体内に入れないようにすることが大切です。

主な症状

くしゃみ

鼻水・鼻づまり

目のかゆみ



花粉を体に入れないためのポイント

花粉がつきにくい服装

室内に花粉を持ちこまない

外から帰ったら手洗い・うがい



花粉症治療 いつからすればいい?



花粉症は、一度症状が出ると鼻の中の粘膜がどんどん敏感になり、悪化していきます。

そうなる前に治療を始めれば、症状が出るのを遅らせたり、軽くしたりできます。

花粉が飛び始める1~2週間前には治療を始めましょう



おまけ  
じつは、先生も小学2年生から花粉症がはじまりました。だから、花粉症の時期、つらいきもちがよくわかります…。症状が辛いひとは、がまんせずに、お医者さんでみてもらいましょう!

